

鉄道駅等のバリアフリー化の促進について

令和3年10月

鉄道駅等のバリアフリー化の促進

2025年大阪・関西万博とその先の将来を見据え、SDGsやユニバーサルデザイン（UD）の視点に立ち、ハード対策とソフト対策とあわせて、鉄道駅等のバリアフリー化を促進

1. 鉄道駅等の更なるバリアフリー化

1-1 3千人／日以上以上の鉄道駅等の1ルート以上のバリアフリー化

【R3年度】（JR西日本「東貝塚駅」）

1-2 UDの視点に立った鉄道駅等の更なるバリアフリー化

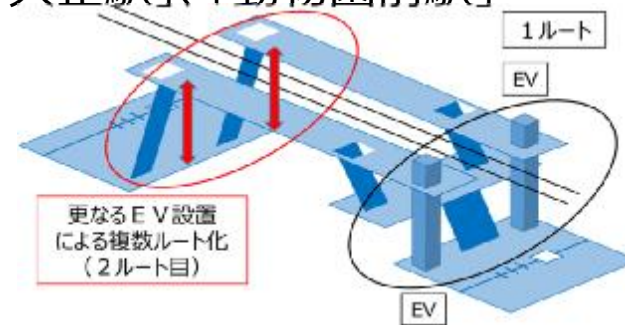
高齢者・障がい者の利用実態、基本構想等作成状況など、地域の実情を踏まえ促進

(ア) バリアフリールートの複数化 【R3年度】 大阪メトロ「大正駅」、「動物園前駅」

(イ) 乗換えルートのバリアフリー化

(ウ) 駅の利用状況を考慮したEVの複数化・大型化

(エ) 3千人／日未満駅の1ルート以上のバリアフリー化



【バリアフリールートの複数化の例】

1-3 万博に向けた鉄道駅等のバリアフリー化

大阪環状線内の乗換え駅等を中心に、バリアフリー化を促進